

報道機関 各位

2019年4月12日

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

2019 国際医用画像総合展(ITEM IN JRC2019) JIRA 記者会見

本日はご多忙の中、「2019 国際医用画像総合展(ITEM in JRC2019) JIRA 記者会見」にご参集いただき、誠にありがとうございます。

一般社団法人 日本画像医療システム工業会(JIRA)一同、感謝申し上げます。

おかげさまで、今回の ITEM in JRC2019 は、出展企業数 163 社(昨年 167 社)、出展面積 8,978 m²(昨年 8,933 m²)となり、入場者数も昨年の 22,220 名(3 日間延べ 45,705 名)を上回ることが期待されております。

「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」について

本日、JIRA は「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」を公開させていただきました。

2025 年 画像医療システム産業がめざす 4 つのビジョン

1. 社会の変化に先駆けた世界をリードする医療イノベーションを実現する
2. 革新的なデジタル技術の活用により、医療の質向上と医療機器産業拡大に貢献する
3. 日本の優れた医療、医療システムを世界に提供し貢献する
4. 社会・自然環境の変化に適応したシステムの提供により、安全・安心で安定した医療を実現する

の実現に向け、JIRA の活動に取り組んでまいります。

「2019 年度 JIRA 活動基本方針」について

画像医療システム産業を取り巻く事業環境・社会ニーズが急速な変化を続ける中、2019 年度の JIRA 活動基本方針として、

1. 画像医療システム産業発展への貢献
2. ICT 技術を活用し医療に貢献
3. 医療、医療システムの国際展開を支援
4. JIRA 基盤活動の充実

を掲げ、JIRA の活動を推進してまいります。

「2019 年度 JIRA 活動基本方針」を添付しましたので、ご参照ください。

最後に、今回の ITEM において JIRA は中央に「JIRA プレゼンテーションコーナー(ステージ)」、展示場右奥に「JIRA ブース」を出展させていただいております。

JIRA プレゼンテーションコーナーでは、特定テーマとして「医療放射線の最適化/防護/管理にかかわる最新技術動向」を掲げ、被ばく低減技術、線量管理技術、防護技術、測定管理技術、診療用放射性同位元素に係る管理技術など、「医療放射線管理」をテーマとしたプレゼンテーション

が企画されています。

タイムスケジュールをご確認の上、お立ち寄りください。

あわせて、JIRA ブースでも、特定テーマとして「医療放射線の最適化/防護/管理にかかわる最新技術動向」を掲げ、被ばく低減技術、線量管理技術、測定・防護技術など、医療放射線の適正管理、職業被ばく測定・防護にかかわる最新技術の紹介などを展示しています。

また、JIRA ブースでは、JIRA 活動全体についても展示させていただき、説明員も配置しております。

ご来場の上、ご忌憚なくお声をかけていただければと思います。

以上

2019 年度 JIRA 活動基本方針

1. 画像医療システム産業発展への貢献

- ◆ 政策への提言活動の強化
 - 内閣官房、厚生労働省、経済産業省等、省庁との対話会等への参加・提言
 - ・次世代型保険医療システム構築への提言
 - ✓ 人工知能などを用いた医療情報の利活用
 - ✓ 人工知能などを用いた医療機器プログラムの規制の在り方
 - ✓ 臨床研究法の円滑な運用
 - ✓ 次世代医療基盤法施行の円滑な運用
 - ✓ サイバーセキュリティ対策
- ◆ 診療報酬制度における医療機器の適正な評価等
 - ✓ 感染防止対策、医療機器保守管理、被ばく管理の推進
 - ✓ 費用対効果評価への対応
- ◆ 学会・職能団体・他工業会・企業等との連携強化
- ◆ JIRA 関連産業の振興

2. ICT 技術を活用し医療に貢献

- ◆ IT 産業、医療系ベンチャー企業の支援
 - 人工知能の画像診断応用に関する指針が策定予定
 - ・人工知能分野の審査指針(厚生労働省)の情報共有
 - ・人工知能分野の開発指針(経済産業省)の運用
- ◆ 医療機関との情報共有
 - ・放射線線量管理
 - ・サイバーセキュリティ対策
 - ・臨床研究法、次世代医療基盤法、改正個人情報保護法

3. 医療、医療システムの国際展開を支援

- ◆ DITTA 活動推進
 - ・規格・制度の国際調和推進
- ◆ 海外進出支援
 - ・新興国等の情報収集、発信
 - ・JETRO、MEJ との連携

4. JIRA 基盤活動の充実

- ◆ 広報活動の強化
 - ・JIRA ホームページの運用強化
 - ・刊行物の充実
- ◆ 調査・研究活動の強化
 - ・JIRA 市場統計、導入実態調査の精度向上
 - ・諸統計資料の調査・研究、アンケート調査等
- ◆ 事業拡大に向けた活動推進
 - ・JRC との共同による展示事業拡大
 - ・セミナー、情報共有、人脈交流等のイベント企画推進
 - ・MRC 認定制度の拡大、および新規立上げ
 - ・税制措置にかかわる証明書発行、税制・補助金の情報提供等、JIRA 会員の支援
 - ・IEC・ISO 等海外規格情報収集・発信、JIS 原案作成・規格公示、JESRA 普及
 - ・薬機法に関する情報の周知
 - ・放射線線量管理の推進
 - ・省エネルギー情報の発信
 - ・モニタ精度管理、DICOM、GHS マークの普及
 - ・JIRA 基幹業務システム(会議開催システム等)のリプレース検討(将来に向けた持続性の担保)
 - ・JIRA 活動を支える人材の確保(部会・委員会・事務局等)

JIRA はコンプライアンスを常に徹底し、2019 年度の活動を遂行します。

【一般社団法人日本画像医療システム工業会について】

1967 年設立以来、日本における放射線医療の発展とともに歩みつづけ、今日では放射線機器・画像医療システム等を供給し、つねに先進の医療環境をサポートする 203 社(2019 年 3 月 26 日現在)の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制対応、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる 21 世紀、今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの 範囲を拓けていくことが使命であると考えます。

当工業会各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動していきます。